

2026年6月19日

各位

会社名株式会社ティムコ  
代表者名 代表取締役社長 酒井 誠 一  
(コード 7501 東証スタンダード市場)  
問合せ先 取締役管理部長 荻原 浩 二  
(電話番号 03-5600-0122)

## 主要株主である筆頭株主の堅果シナジー投資事業有限責任組合 との協調体制の構築に関する合意のお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、主要株主である筆頭株主の堅果シナジー投資事業有限責任組合（以下、「堅果シナジー」）との協調体制の構築に関する合意(以下、「本合意」)について決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

### 記

#### 1. 本合意について

本合意は、堅果シナジーが、当社の事業収益の向上、事業活動の国際化、DX化及びEC機能の強化、当社の経営及び事業運営人員の紹介・提案等について助言を行うことにより、当社の経営資源の有効活用、事業効率の向上等を実現し、株主共同の利益に資するべく、当社の利益拡大をもたらすことを目的とするものであります。

また、堅果シナジーは、当社従業員の雇用を尊重すること、当社及び当社の既存の取引先との関係性を尊重すること、当社が培ってきたブランド、ノウハウを尊重すること、当社取締役会が、少数株主の利益に配慮しつつ決定した施策に対して協力するとともに、当社が上場を維持するために講じる合理的な施策に協力する旨について合意しております。

なお、当社では、中期的な重点施策として、「お客様との接点の強化」、「EC分野の拡大」、「海外展開の強化」を掲げております。堅果シナジーは、これら当社の重点施策を理解し、同組合が推進するグローバル展開及びDX化との方向性が、当社の掲げる上記の施策をさらに発展させる一環となるものと判断しております。当社は、本合意により、当社の中期経営計画の達成に向けた取り組みを加速し、引き続き、企業価値向上に取り組んでまいります。

#### 2. 合意に至った経緯

当社は、2026年5月19日付「堅果シナジー投資事業有限責任組合による当社株式に対する公開買付けに関する意見表明(反対)のお知らせ」において、概要以下の理由(ア)～(エ)に基づき、本公開買付けに反対する旨の意見を表明しておりました。

その後、2026年5月22日に堅果シナジーによる公開買付けが成立したことを受け、当社は堅果シナジーとの間で、当社の企業価値向上に向けた具体的な施策や経営体制について真摯に協議を重ねてまいりました。その結果、後述のとおり、当初の反対理由となった懸念点が解消され、本合意が当社の株主価値向上に資するものであるとの認識で一致したため、本合意に至りました。

### 3. 反対理由の解消

#### (ア) 主要株主としての情報開示および経営関与の適否について

当初、堅果シナジーの情報が十分に開示されていないため、経営関与の適否を検討できないことを理由として反対しておりました。当社では、同組合との協議を通じて、投資事業組合としての守秘義務に伴う情報開示の制限について理解を深めるとともに、同組合のこれまでの投資・運用実績が十分な評価に値すること、また当社への投資の方針が明瞭であることから、同組合が当社の信頼に足るものであると判断するに至りました。さらに、同組合による当社を成長に導くための「グローバル化」および「DX化」の推進は、当社の中期経営計画における「海外展開の強化」「EC分野の拡大」と方向性が一致するものであります。これらにより当社の企業価値および株主価値の向上に資するものと判断したため、本理由は解消いたしました。

#### (イ) 企業価値向上施策の実現可能性について

当初、具体的な実施方法、必要な人材・経営体制および実行プロセスが明確ではなく、実現可能性に不透明な点が多いことを理由として反対しておりました。その後の協議において、公開買付期間中には未定であった人材や経営体制について、堅果シナジーより具体的な配置案や実施方法が明確に示されたことで、施策の実現可能性および実効性が担保されたと判断し、本理由は解消いたしました。

#### (ウ) 公開買付け成立後の上場維持について

当初、買付上限が60%に設定されており、上限に至った場合は上場維持基準の適合が極めて困難になる懸念があるにもかかわらず、具体的かつ実効的な方策が示されていないこと等を理由として反対しておりました。しかしながら、2026年5月22日の公開買付け後、堅果シナジーの議決権比率は45.00%(直近の2026年5月31日現在の株主名簿に基づく議決権比率)に留まり、今後両社の協力体制のもとで上場維持に向けて協調して取り組んでいく方針を確認できたため、本理由は解消いたしました。

#### (エ) 本公開買付けの強圧性について

当初、全部買付ではなく上限(60%)が設定されていることから、応募株主のすべてが売却できる保証がなく、一般株主の皆様が強圧性を与える設計であったことを理由として反対しておりましたが、公開買付け後の堅果シナジーの取得比率が45.00%となった結果、一般株主の皆様の取引機会や市場流動性に与える強圧的な影響は限定的であったと判断しております。

#### 4.本合意の相手先の概要

(1) 名称	堅果シナジー投資事業有限責任組合	
(2) 所在地	東京都千代田区岩本町2丁目17番4号泰合ビルII201号室	
(3) 設立根拠等	投資事業有限責任組合契約に関する法律	
(4) 組成目的	投資先企業の企業価値向上を通して、組合員の財産を最大化することを目的とします。	
(5) 組成日	2026年2月16日	
(6) 出資の総額	3,068,848,166円	
(7) 出資者・出資比率	当組合の出資者は、無限責任組合である株式会社堅果テクノであり、また投資事業有限責任組合契約及び加入契約の各締結先により出資がされています。株式会社堅果テクノ以外の他の出資者の概要及び出資比率については開示されていません。	
(8) 業務執行組合員の概要	名称	株式会社堅果テクノ
	所在地	東京都千代田区岩本町2丁目17番4号泰合ビルII201号室
	代表者の役職・氏名	代表取締役 王志偉
	事業内容	日本国内において継続的に投資機会の探索、投資の実行及び投資先企業への経営支援等を行うことを主たる目的とする株式会社です。
	資本金	3,000万円
(9) 当社と本合意先との間の関係		
当社と本合意先との間の関係	資本関係	当社株式45.00%を取得しています。※
	人的関係	該当ありません。
	取引関係	該当ありません。
	関連当事者への該当状況	該当ありません。
当社と業務執行組合員との間の関係	資本関係	該当ありません。
	人的関係	該当ありません。
	取引関係	該当ありません。
	関連当事者への該当状況	該当ありません。

※2026年5月31日現在の株主名簿に基づく総議決権数24,746個を分母として計算し、小数点以下第三位を四捨五入しております。

#### 5. 日程

(1) 取締役会決議日	2026年6月19日
(2) 本合意書の締結日	2026年6月19日

#### 6. 今後の見通し

2026年5月25日に当社が発表いたしました「堅果シナジー投資事業有限責任組合による当社株式に対する公開買付けの結果、並びにその他の関係会社、主要株主及び主要株主である筆頭株主の異動に関するお知らせ」において、公開買付け後における当社の流通株式比率が、東京証券取引所スタンダード市場における上場維持基準である25%を下回る旨をお知らせしておりますが、本合意により、堅果シナジー並びに当社が協調して、上場維持に向けた施策を実施し、上場維持に向けて取り組む方針であります。

また、新たな役員体制及びガバナンス体制を実現のために、臨時株主総会の開催を予定しております。取締役候補者並びに開催時期が決まり次第、速やかに開示をいたします。

本合意が当社の2026年11月期の業績に与える影響につきましては、現時点では不明ですが、中長期的に両社の企業価値向上に資するものと考えております。今後、業績に重要な影響を及ぼすことが明らかとなった場合には、速やかに公表いたします。

以上